

筑波大学比較・理論文学会 平成 30 年度活動報告

(以下の報告は 2019 年 3 月 1 日現在のもの)

◎平成 30 年度筑波大学比較・理論文学会年次大会

2019 年 2 月 16 日 於：筑波大学人社棟 A316

◆ 特別講演

鷺谷花（大阪国際児童文学振興財団 特別専門員）

「スクリーンの「ニコヨン」たち——失業対策事業日雇労働者と映像メディア」

◆ 研究発表

・今野安里紗（文芸・言語専攻 フランス文学領域 3 年次）

「成熟と未成熟のあいだ——マリー・ンディアイ『プリユネルの天国』における少女と剥製」

・玉刊（文芸・言語専攻 総合文学領域 1 年次）

「『浅草紅団』と『靈山』における語り方の比較考察——モダニティの探求と不安」

・ナーヘド・アルメリ（文芸・言語専攻 総合文学領域 5 年次）

「大正期の一流童謡詩人における「子ども」観——理想と現実の間」

◎博士學位論文請求論文発表会

2018年9月30日 於：筑波大学人社棟 A520号室

李佳眩（文芸・言語専攻 総合文学領域5年次）

「三島由紀夫作品における女性像——主体的人間像と支配力」

◎中間評価請求論文発表会

2019年1月10日 於：共同利用棟 A103号室

高橋優佳（文芸・言語専攻 総合文学領域2年次）

『『ハリー・ポッター』シリーズにおける運命と自由意志』